



### ■「大塚地域まちづくりビジョン」の検証作業について【第2回地域協議会から】

チーム大塚が、「ちょっとした困りごとのお手伝い」をイメージする生活支援分野の「地域ぐるみの支え合いの仕組みづくり」に取り組んでいます。先日「チーム大塚」の会議に、まち推（福祉部会）・地域包括支援センター・地域事務所も出席し、生活支援分野の取組について意見交換を行い、隣近所の高齢者のごみ出しの手伝いとか、出来る範囲のボランティアを地域に広めていって、市の「健康マイレージ」みたいにポイントが貯まったら、何か景品がもらえるような「ちょっとボランティア」の話も出ましたので、今後も協議を続けていきます。今回は、統合もしくは共催化というよりも、大塚地域で行われている見守り・生活支援の取組を組み合わせ、大塚地域の生活支援分野の支え合いの仕組みができないかについて、フリートークしました。



#### フリートークで出された意見の一部

- ◆ 社会福祉協議会の「みんなでボランティア体験inおおつか事業」を復活させて、「ちょっとボランティア」と組み合わせ、できないか。
- ◆ 「はなみずき」解散を検証して、新たな取組の参考にしたらいいのではないか。
- ◆ 新しい何かを組織化するよりも、昔、しょうゆを貸したりしていたように、隣近所で助け合えるうまいやり方、今は浮かばないが、そんな方が良いのでは。（昭和の良き時代を取り戻そう）
- ◆ 隣近所の人困っていたら助ける気持ちはみんな持っている。昔は「となり組」で助け合いしていた。
- ◆ 民生委員、福祉協力員、自治会役員の動線を図に描いて整理したらどうか。

### 令和5年度 第3回地域協議会が開催されました【令和5年8月22日(火)19:00~】

#### ■令和5年度地域コミュニティ活動交付金事業申請及び意見書について

まちづくり推進委員会から、以下の3事業が提案され、事業実施に際しての意見を付して、全事業承認されました。

事業名	事業への意見
1 「やさしいまち大塚」プロジェクト事業（3年目） 事業費 20,000円	ステッカーを表示していただく事業所、個人宅が少しでも増えるように、引き続き、事業に対する住民への理解を深め、ステッカーの周知徹底を図っていただきたい。
2 昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業（13年目） 事業費 30,000円	昔の遊びを通じて異世代交流を深め、子ども達が日本の文化に触れる機会を提供し、また、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環としてニュースポーツが体験できる貴重な事業なので、今後も是非、継続していただきたい。
3 大塚町体育祭共催事業（13年目） 事業費 710,000円	地域住民同士の親睦が深まり、絆づくりが図られるように、本年度も自治会連合会と大塚地区体育会が連携を密にして、体育祭を盛り上げていただきたい。

#### ■「大塚地域まちづくりビジョン」の検証作業について

大塚地域の各団体の広報紙は、団体毎に発行していますが、地域自治区によっては、大塚地域のように、まとめて発行しているところもあります。まとめれば、住民からすれば、地域の団体情報がまとめて見れて便利ですが、紙面の都合で、各団体の伝えたい情報が制限されるといったデメリットもあります。今回は、広報紙の統合もしくは共催化できるものはないかについて、フリートークしました。



【裏面に続く】

## フリートークで出された意見の一部

- ◆ 情報紙を作る仕事をしているので、大塚の広報紙に目がいき、こんなに色々じっくり読める、読み応えのある地域の広報紙があるんだと思い、以前、大塚の広報紙を紹介させてもらった。
- ◆ 大塚でも色々なことをしているので、手元に残してもらえそうな、読んでもらえるような、楽しみにしてもらえるような広報紙を作っていく、学校などを通して自治会未加入者にも届いているので、パワーアップした広報紙が出来たら、自治会加入にもつながるのではないかなと思う。
- ◆ 回覧で来ると、じっくり見るという感じではないと思う。数が多ければ、余計見る機会が少なくなっているのかなと思う。
- ◆ 作る人は、いろいろ工夫しながら作っているのだろうと思うが、みんなに見てもらえないのであれば、ある程度まとめて、ノウハウのある方の意見を活かしながら作り上げることができれば、それぞれ今担当して作っている方も心強いのかなと思う。
- ◆ 活字を見るのが面倒だという人が増えている。高齢の人だけでなく、若いお母さんも読み込む余裕がない、あまり見ないという声を聞くので、最近の社協だよりは写真は重視している。
- ◆ ただ、まとめるとなると発行回数も違うので、難しいのではないかなと思う。
- ◆ 大塚の広報紙は団体も発行回数もバラバラなので、回覧する広報紙が多い。
- ◆ 関係ないわって人は見ないと思うので、読んだ人が参加できるような内容にしたら良いと思う。
- ◆ 例えば、ドッグランとかフェイスブックにアップしたりしているが、参加した人を取材して広報に載せ、今度いついつ載りますよっていうとその人が口コミで宣伝してくれると思う。
- ◆ 発行する側が発信するだけじゃなくて、例えば、「この中に大塚のこのマークが何個あるか。」当たった人には景品をあげますよ。みたいな読者参加型の広報紙も良いかなと思う。
- ◆ この広報紙は誰に向けて、何を伝えたいのかを一番明確にしないと、受け取ってもらえないと思う。
- ◆ 自分が欲しい情報が載っているとかが、自分に関する情報が載ってれば、見ると思う。

## 令和5年度 第4回地域協議会が開催されました【令和5年10月17日(火)19:00~】

### ■「第3回祭り大塚」について

10月8日(日)に、4年ぶりに開催された「第3回祭り大塚」について、報告がありました。当日はあいにくの雨でしたが、2会場を1会場に規模を縮小して開催され、小雨の中、約3千人の来場者で賑わったとのことでした。前日準備、当日、後片付けと雨の中、3日間にわたり、大変ご苦労いただいた、祭り大塚振興会・実行委員会の皆さんを初めとする関係者の皆さん、誠にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



### ■「大塚地域まちづくりビジョン」の検証作業について

今回は、『大塚地域まちづくりビジョンに「大塚独自の防災訓練」を掲げているが、南海トラフ地震を想定した地域全体の防災訓練はできないか』についてフリートークを行いました。出された意見は、次回紹介します。

発行:宮崎市地域振興部 地域コミュニティ課 大塚地域事務所  
TEL:54-2222 住所:宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296-3(大塚中学校となり)  
FAX:64-0270 メールアドレス:07otuka-c@city.miyazaki.miyazaki.jp

